



# 風はPLCから

令和2年 10月  
鹿児島大学  
教職大学院通信 第2号  
発行 広報・ICT部

第3タームに入り、念願の「対面」での講義も始まりました。教室で出会う先生方や院生との学びが「大きな喜び」となり、「教職大学院での学び」が一層、深まっていく予感がします。

さて、今回の通信は、9月24日（木）の「成果発表会」をもって終えた「高度化実践実習Ⅰ」の特集です。ストマス（学部卒院生）に実習（検証授業等）を終えた感想等をお願いしました。それぞれの探究課題を解決すべく、いかに実習を過ごしたかがよく分かります。さらに、「検証授業の授業づくり」等を通して、メンターを務めた現職教員院生との「学びの交流」が促進されたことも伝わってきます。

ストマス、現職教員院生ともに授業や組織について深く見つけ、新たな課題を発見できた貴重な実習となりました。



「授業研究（協議）の様子」

## 春藤 大和 さん



### 検証授業 小学校 算数科 単位量当たりの大きさ（1） 単位量当たりの大きさ（2）

検証授業に臨むにあたり、何を検証するのかを明確にするため、探究テーマである「数学的な見方・考え方の育成」や「思考力の育成」について、論文や実践事例から学びました。

検証授業を通して、理論を授業に落とし込むには教師の授業力が不可欠であることを再認識しました。また、学びの過程では「活用」や「探究」の場面を意識しがちになっていましたが、その前に「習得」がしっかりとできていないといけないことを学びまし

た。教師として必要な能力は無数にありますが、本実習を通して新しく見えたものを身に付けていきたいです。

#### 【 今後、頑張っていきたいこと 】

自分の授業基盤となる授業形態の確立



## 八木 詩穂香 さん

### 検証授業 小学校 特別の教科 道徳 A 自分自身に関すること

#### 個性の伸長…『花をさかせた水がめの話』

#### 善悪の判断、自律、自由と責任…『カマキリ』

不安と緊張に加え、「学部の頃とは違う」という自分へのプレッシャーに負けそうになる日もあったが、無事に3回の授業を行うことができました。重点的に取り組んだことは、「子どもたちと一緒に深め合う」授業づくりです。そこで、「心が揺れたり」、「葛藤したり」、「自分と向き合える」ような授業になるよう意識しました。しかし、実際は指導力が伴わなかったり、教材研究が浅かったりするなど課題は山積み…。改めて一瞬、一瞬学び続ける大切さを学びました。わずか45分間でしたが、4年い組の子どもたちと創った道徳の授業は大切な宝物となりました！

#### 【 今後、頑張っていきたいこと 】

「ここで終わってしまったのは大学院の研究ではない」と思うので、今後、自身の探究課題を明確にし、理論と実践の往還を深めていきます。あとはどんなときも笑顔で顔晴（がんば）ります。



## 井上 貴昭 さん

### 〔 検証授業 中学校 国語科 ことば発見 3 敬語の意味と種類 〕

今回の検証授業では、言葉に愛情やこだわりをもって他者と関わることができるような生徒を育てるために、「言語感覚」を育むことを目標に実践を行いました。どれ程取り組んでも課題が残る教材研究。なかなか思いつかない適切な発問。不安は山程ありましたが、本番では生徒達から沢山の言葉を引き出すことができました。

今回の検証授業では、子どもたちと一緒に授業を作っていくことの大切さを学びました。今後も子どもたちの言葉を尊重しながら、国語という教科の面白さの発見を生徒と共有していけるような授業を目指したいと思います。

〔 今後、頑張っていきたいこと 〕 言葉を通して子どもたちと一緒に発見のある授業づくり



## 奥 恵美佳 さん



### 〔 検証授業 中学校 音楽科 昔から受け継がれている日本の民謡に 親しみ、その良さを味わおう。 〕

検証授業を5回させていただき、毎回の授業の反省や課題を次の授業に活かせるよう先生方やメンターの方のアドバイスを多く吸収したいという気持ちで取り組みました。また、生徒が「楽しく」音楽と関われるように工夫しました。授業づくり、授業研究を通して、特に教材研究の大切さを感じました。また、メンターの方のアドバイスや励ましの言葉が支えになり、頑張ることができました。私も、優しく導いていけるような人になりたいです(笑)。「教員になりたい!」と改めて感じることでできた検証授業でした。後期も頑張っていきたいと思います。



〔 今後、頑張っていきたいこと 〕 探究課題である音楽活動の「楽しさ」の追求

## 椎原 史郎 さん

### 〔 検証授業 中学校 保健体育科 陸上競技 ( 短距離走 ) 〕

今回の高度化実践実習 I では、1時間の授業の中で生徒が運動をできるようになることを目指して、「わかる」と「できる」という視点から「コツ」に着目した授業の実践に取り組みました。

「コツ」や「ポイント」といった概念の整理と共有、また生徒の意見の引き出し方が難しかったです。自身だけのものについて考える時間に「コツ」の理解がされることがわかったことは成果です。

〔 今後、頑張っていきたいこと 〕  
様々な指導法の習得、効果的なワークシートの開発



## 高田 奈々美 さん



### 〔 検証授業 中学校 社会科 東アジア世界との関わりと社会の変動 〕

とにかく、しっかりと教材研究に取り組み、この学習を通して子どもたちに身につけてほしい考え方を明確にすることを意識して授業を実践しました。

目の前の子どもたちの実態をきちんと把握し、それに合わせて学んできた理論を実際の授業に落とし込むことの難しさを改めて痛感しました。

これまで課題にしてきたことを少し解決できたり、今後もっと深めていきたいことをたくさん見つけることができたり…周りの方々のおかげで実り多い実習になりました。

〔 今後、頑張っていきたいこと 〕

ストマスのみんなと「模擬授業をしたいね」と話しています。自分の教科はもちろん、お互いの教科の授業をつくってみたい、同じ単元の授業をつくって比較したりしながら、授業を構想する力を伸ばしていきたいです。

## 田坂 裕輝 さん



### 〔 検証授業 中学校 保健体育科 陸上競技（リレー） 〕

子どもたちが自身の成長や変容に気付いて欲しいという思いで教材研究・授業に臨みました。そのために、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業作りを心掛けました。

授業の中で、生徒の多くの気づきや発見を学びや成長に転換してフィードバックできなかったことが課題であると感じました。探究課題の追求とともに、教師の生徒に対する関わり方を磨いていきたいと思いました。

た。検証授業を実施するにあたり、多くの先生方をはじめ現職の先生方のサポートを賜りましたことを深く感謝致します。

### 〔 今後、頑張っていきたいこと 〕

探究課題の追求とともに授業の基礎・基本を学び直したいと思いました。

### 【 教職大学院の先生方の紹介 第1弾 】

日頃、講義等でお世話になっている教職大学院の先生方に「いくつかのテーマ（選択も可）」を出させてもらい、自己紹介文を書いていただきました。先生方の「魅力の一端」が伝わってきてより身近に感じます。「話の続き」を聞きたい人は、ぜひ講義後や、オンライン懇親会の際などに話を伺ってみてください。たくさん、楽しいお話が聞けそうです。

### 「テーマ」 ※ 選択も可

- ① 私のふるさと、私のふるさと自慢
- ② 最近のマイブーム
- ③ 頑張った自分へのご褒美
- ④ 私の研究

〔 小学生に紹介するぐらい、かみ砕いて  
お願いします。 〕

### 山本 朋弘 先生

#### ① 私のふるさと、私のふるさと自慢

熊本県人吉市。清流球磨川と風情ある温泉旅館の街です。最近帰っていないなー。鰻、餃子、ラーメンの名店があります。

#### ② 最近のマイブーム

桜海老と海苔の味噌汁（インスタント味噌汁）

#### ③ 頑張った自分へのご褒美

ケーキの会を定期的（不定期もあり）に開催中。

#### ④ 私の研究

教育工学、情報教育、コンピュータサイエンス

IoT、プログラミング、AI やロボットを学校や家庭でどのように活用するかを研究しています。

### 小久保 博幸 先生

#### ② 最近のマイブーム

猫を飼っています（3歳雌・にこちゃん）。都合のいいときだけ、甘えた声を出しながら近付いてきて、じーっと見つめてきます。そうかと思えば、願いがかなうと去って行く……。天邪鬼なところが何とも言えません。そんなにこちゃんに友達をと考え、里親捜しの会へ足繁く通い、ついに2匹目を飼い始めました！（5ヶ月雄・こさち）

### 原之園 哲哉 先生

#### ② 最近のマイブーム

「タイトル」はちょっと気取って、「吸風飲露」かな！（ちなみにこの語句は『莊子』逍遙遊から…）  
いまでも、稜線を吹き抜ける涼風。野営テントを叩く雨音。ランプ燭を映す文庫の文字色。そして山容のペトリコールを感じたくて、年数回の山行を愉しみにしていますが、我が同輩諸氏は日帰り山行すらままならず、哀しいかな引退者続出…。旧友の体力・意欲減退に憤慨し同情するとともに、摩訶不思議！私にも忍び寄る“弱体化”をひたすら否定しひた隠しながらも戦々恐々とする今日この頃。（みなさんにもそういう日が…）

でも、最近一筋の陽光を感じる時があります。それは、見知らぬ農道をFolding bikeで彷徨（さまよ）うとき緑風が全細胞を包む快感。そしてペットボトル一飲の涼感。いや爽快です。みなさんも試してみては？（これが強いて言えば「マイブーム」かな。他にも愉しみは多いけど…）

### 溝口 和宏 先生

#### ④ 私の研究

私たちは一人では生きていけません。「社会」の中で、多くの人や仕組みに支えられて生きています。では、私たちが生きるのに必要な「社会」って何でしょう。それはどのようにして、つくられているのでしょうか。また、目に見えない「社会」を私たちはどうすれば分かることができるのでしょうか。「社会」を分かる／つくるための方法を考え、それを学校の先生がどのように使って「社会科」の授業をすればよいかを考える。それが私の研究です。

※ 「先生方の紹介コーナー」は、次号以降も続きます。楽しみに待っていてください。